

1液革命進行中!!



ターペン可溶形アクリルシリコン樹脂塗料 カンペ1液Mシリコン

HG

(ハイグレード)

鉄部・木部・モルタル・コンクリートに!
作業性にこだわった塗りやすい塗料です!

★最高水準の耐皮脂性 ※同系統品比

ハイグレード
カンペ1液MシリコンHGは
2つの塗料の“いいとこどり”

1液

- 1液で使い易い
- 環境にやさしい
- 幅広い下地適正

2液

- 抜群の作業性
- 安心の高耐候性
- 信頼の塗膜物性

高耐候性

鉛・クロム
フリー

防カビ
防藻性

難汚染性

弱溶剤

使いやすい

特徴

- Point 1 ホルムアルデヒド放散等級区分 F☆☆☆☆です。
- Point 2 1液タイプなので、2液タイプ塗料で問題となる残塗料のムダが低減でき、硬化剤の調合ミスが起こりません。
- Point 3 臭気がマイルドで、作業環境にやさしい塗料です。
- Point 4 イソシアネート、トルエン、鉛化合物などの有害物質を配合していません。
- Point 5 内、外部に幅広く適用できます。
- Point 6 塗装作業性、仕上り性に優れています。
- Point 7 防カビ、防藻性があります。



荷姿・色・艶

荷 姿	1 5kg・3kg
色	白および各色
艶	艶有り・艶調整可(3分艶有りまで)

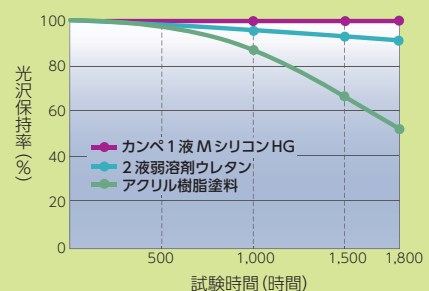
素材別適用下塗

素 材	下塗り
鉄	ザウルスEXⅡ、スーパーザウルスⅡ
アルミニウム	スーパーザウルスⅡ
亜鉛メッキ	
木部	カンペ 1液 M木部下塗 HG
コンクリート	エポMシーラー、 マルチタイルコンクリートプライマー-EPO、 アレスホルダー-GⅡ、アレスホルダー-Z
モルタル	
窯業系サイディング ※メンテナンスフリータイプには 塗装不可	エポMシーラー、アレス水性エポレジン、 マルチタイルコンクリートプライマー-EPO (塗り替えて、下地の欠損や旧塗膜の剥離等がない状態の場合、下塗りを省略できます)

高耐候性

JIS K 5658(建築用耐候性上塗り塗料) 耐候等級2級相当。
《キセノンランプ法試験時間1,200時間で光沢保持率80%以上》
※白エナメルでの試験結果です。

促進耐候性試験結果
紫外線などにより、塗膜表面の樹脂が破壊されると光沢が低下していきます。光沢保持率は塗膜の耐久性のバロメーターです。





KP-111



KP-110



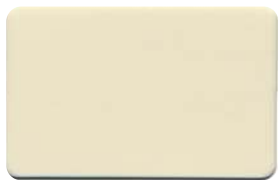
KP-112



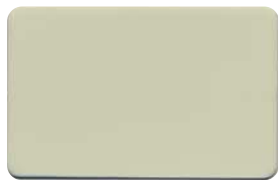
KP-223



KP-310



KP-121



KP-133



KP-221



KP-120



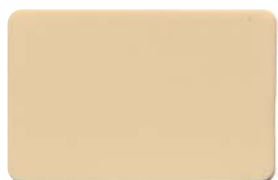
KP-127



KP-131



KP-80



KP-337



KP-336



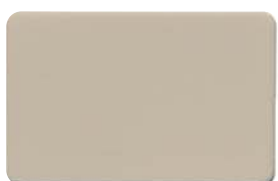
KP-141



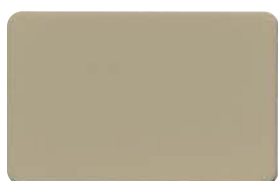
KP-247



KP-330



KP-147



KP-350



KP-75



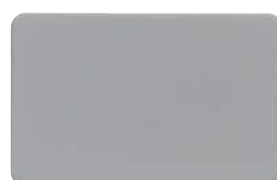
KP-347 ◎



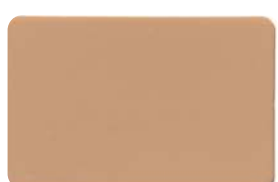
KP-150



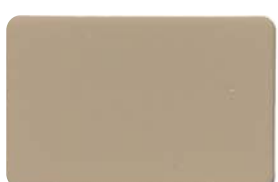
KP-352



KP-70



KP-356



KP-357



KP-368 ◎



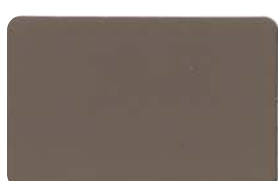
KP-50 ◎



KP-367 ◎



KP-167 ◎



KP-376 ◎



KP-379 ◎



KP-170 ◎



KP-385 ◎



KP-185 ◎

※この色見本は、紙に塗装していますので
 実際の仕上りと多少異なります。
 ※提案色以外でも日本塗料工業会色見本帳
 などでの調色も可能です。
 ◎印は、材料費が割高になります。

ターペン可溶形アクリルシリコン樹脂塗料 カンペ1液MシリコンHG



標準塗装仕様(例) 塗り替え

一般鉄部

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
素地調整	劣化している塗膜はケレン工具で除去する。さびは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃する。素地露出部は下塗りを用いて補修塗りをを行う。				
下塗り	ザウルスEX II 塗料用シンナーA	0.13	4時間以上 7日以内	ローラー	0~10
		0.17		エアレス	5~15
上塗り (1回目)	カンペ1液MシリコンHG 塗料用シンナーA	0.13	2時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	5~15
		0.17		エアレス	5~20
上塗り (2回目)	カンペ1液MシリコンHG 塗料用シンナーA	0.13	—	ハケ・ローラー	5~15
		0.17		エアレス	5~20

木部

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
素地調整	汚れ、付着物を除去し、研磨紙P120~240を用いて研磨紙ざりを行う。節およびその周辺は、セラックニスを用いて節止めを行い、穴うめの必要があればポリパテなどで穴うめを行う。				
下塗り	カンペ1液M木部下塗りHG 塗料用シンナーA	0.13~0.20	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0~10
		0.13~0.16			5~15
上塗り (1回目)	カンペ1液MシリコンHG 塗料用シンナーA	0.13~0.16	2時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	5~15
		0.13~0.16			5~15
上塗り (2回目)	カンペ1液MシリコンHG 塗料用シンナーA	0.13~0.16	—	ハケ・ローラー	5~15
		0.13~0.16			5~15

コンクリート・モルタル

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
素地調整	モルタルの浮き・クラック等は適切な処置を行う。劣化塗膜やチョーキング・汚れ等を高圧水洗にて除去し乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	アレスホルダーG II 上水	0.8~1.5	8時間以上 7日以内	多孔質 ローラー	1~5
		0.13			2時間以上 7日以内
上塗り (1回目)	カンペ1液MシリコンHG 塗料用シンナーA	0.13	—	ハケ・ローラー	
		0.17			エアレス
上塗り (2回目)	カンペ1液MシリコンHG 塗料用シンナーA	0.13	—	ハケ・ローラー	5~15
		0.17			エアレス

※その他にも様々な仕様を組み合わせることが可能です。詳細については当社係員までお問い合わせください。

窯業系サイディングボード(トップコートの塗り替え)

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
素地調整	サイディングボードのクラック・ボード面の脆弱層のクラックなどは適切な処置を行う。劣化塗膜やチョーキング・汚れなどを高圧水洗にて除去し、乾燥した清浄な面とする。				
上塗り (1回目)	カンペ1液MシリコンHG 塗料用シンナーA	0.13	2時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	5~15
		0.17			エアレス
上塗り (2回目)	カンペ1液MシリコンHG 塗料用シンナーA	0.13	—	ハケ・ローラー	5~15
		0.17			エアレス

※シーリング材にはシープ処理等施してください。
※下地・旧塗膜の劣化が著しい場合には上塗りの前に「アレス水性エポキシ」等を塗装してください。

施工上の注意事項

- ①所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- ②塗装仕様に記載の塗装間隔は、屋外で気温 23℃ の条件を想定しています。低温時や屋内等で十分な換気ができない場合は、塗装間隔が長くなる場合がありますのでご注意ください。
- ③気温 5℃ 以下、湿度 85% 以上の環境では塗装を避けてください。また、強風時や降雨、降雪、結露が予測される場合も塗装を避けてください。
- ④吸い込みが大きい素材や、下地調整を行った部分には、「エポ M シーラー」を下塗りとしてご使用ください。〔VP シーラー〕は不適です。
- ⑤黄・赤・青・緑系の劣色で仕上げの場合は、隠蔽性を上げるため、1 層目に共色で塗装して仕上げることをお勧めします。
- ⑥外壁面や浴室壁面等にエマルジョンパテを使用しないでください。剥離の原因となります。
- ⑦耐摩耗性、耐油性、耐溶剤性等が求められるカウンター、床面、遊具、プラント、設備類へは適用できません。
- ⑧コンクリート、モルタル等のアルカリ性素材に塗装する場合は、水分 8% 以下、pH10 以下になるまで、十分に乾燥させ、適切な下塗りを塗装後に本品を塗装してください。塗装する際は、適切な下地処理を行ってください。
- ⑨鉄扉等の旧塗膜への直接塗りはチヂミや付着不良等の不具合が発生する場合がありますので、必ずザウルス EX II 等のさび止めの上に本品を塗装してください。
- ⑩使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。薄めすぎは隠蔽力不足や光沢不足の原因となるだけでなく、流れやすくなるために、仕上り不良の原因ともなりますのでご注意ください。流れた部分が白っぽくなる場合がありますが、この場合は、直ちに補修塗りを実施してください。
- ⑪被塗面に、油、ワックス汚れ等が付着している場合は、必ずシンナーを含ませたウエスで拭き取ってから塗装してください。
- ⑫ツヤ調整仕上げの場合、塗装方法の変動、所要量のバラツキ等により、ツヤムラが生じる場合がありますので、ご注意ください。

- ⑬塗料用シンナーで容易に溶解する旧塗膜の上には塗装しないでください。(チヂミが発生する場合があります。)
- ⑭異なる色相で塗り重ねる場合、2 層目の上塗り時に 1 層目の色のブリード(色の移行)が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ⑮汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ⑯塗装用具の洗浄には必ずラッカーシンナーを用いてください。(塗料用シンナーでは洗浄できません)
- ⑰開栓した状態で長時間放置すると、空気と反応して増粘・皮張り等を起こしやすくなりますので、使用後の塗料は、必ず密閉して冷暗所に保管してください。
- ⑱スチールドアなどで、ゴムパッキンと接触する部分は、粘着することがありますので、「カンペ 1 液 M スーパー強化剤」を添加して塗装してください。但し古い建物等で塩ビのパッキンが使われている場合はパッキンを交換してください。
- ⑲シーリング面への塗装は極力避けてください。汚染や粘着、ワレの原因となります。やむをえず塗装する場合は、ノンブリードタイプのシーリング材を用いることとし、「シープ」または「マルチタイルコンクリートプライマー EPO」をバインダーとして挟むことで不具合を軽減することができます。
- ⑳本品自体の耐油脂性も向上させていますが、頻繁に人の手が触れる部分は「カンペ 1 液 M スーパー強化剤」を添加して塗装してください。
- ㉑蓄熱されやすい素材(軽質モルタル、ALC、窯業サイディングなど)等で、旧塗膜が弾性リシンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルトップ等の場合、環境条件によっては水や温度の影響で塗膜が膨れる場合があります。これらの場合には既存塗膜を除去する等の入念な下地処理を行ってください。
- ㉒濃彩色仕上げの際、雑巾・ウエス等で強くすると色落ちや艶変化が起こる場合があります。

ご使用上の注意事項

- 下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。
- 又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 予 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・入り巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 防 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 策 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱灯に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂・布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、酸欠ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでご案内していただく旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようご注意ください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934
北海道 TEL(0113)64-2424 FAX(0113)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223
東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935

中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603
中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)411-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

ご用命は

(17年07月06日PNA) カタログNo.699
頒布価格 1,000円(税別)